

■第64回北海道スキー技術選手権大会

兼 第64回全日本スキー技術選手権大会北海道予選会 開催要項

- 1 主催 公益財団法人 北海道スキー・スノーボード連盟
- 2 協力 加森観光株式会社 ルスツリゾートスキー場
- 3 目的
所属団体から選抜された選手により、スキー技術の演技を競い、技術向上の促進に資することを目的とし、全日本スキー技術選手権大会への派遣選手を選考します。
- 4 会期 2027年1月29日（金）～31日（日）
- 5 会場
ルスツリゾートスキー場
〒048-1711 虻田郡留寿都村泉川13
（選手受付 サウスウィング1Fルスツアリーナ）
- 6 本部および現地本部
ルスツリゾートホテル・大会事務局
TEL 0136-46-3331
- 7 参加対象
 - (1) 2027年度のSAJ会員登録を完了している者。
 - (2) 日本国籍を有し2027年4月1日時点で男女とも満13歳以上（中学生以上）の者。
ただし、中学生については下記の条件を付するものとします。

<中学生参加条件>

第15回北海道ジュニアスキー技術選決勝大会または第10回全日本ジュニアスキー技術選大会にて

【中学1年生（2027年4月1日時点で満13歳の者）】

ジュニアの部の総合成績 第6位以内の上位3名

【中学2年生、3年生（2027年4月1日時点で満14～15歳の者）】

ジュニアユースの部の総合成績 第10位以内の上位6名

※上記対象の者へは個別に連絡します。

- (3) SAJ級別テスト1級以上の資格を有している者。
 - (4) 各種損害保険に加入済みの者。
 - (5) 上記条件を満たし、所属団体長（加盟団体会長）の推薦を得た者。
※予選会を開催する加盟団体に所属する者は予選会を通過した者（中学生参加者も同様）（1）～（5）をすべて満たした者とし、ます。
※未成年者（2027年4月1日現在 満18歳未満）は保護者の同意が必要です。
- 8 オープン参加の取り扱いについて
- (1) 北海道スキー技術選手権大会には、日本国籍を有していない者にもオープン参加を認めます。ただし、以下の条件を付することとします。
 - ア. 2027年度のSAJ会員登録を完了している者。
 - イ. 本大会申込み時点で男女とも満18歳以上の者。
 - ウ. SAJ級別テスト1級以上の資格を有している者。
 - エ. 各種傷害保険に加入していること。
 - オ. 上記条件を満たし、所属団体長（加盟団体会長）の推薦を得た者。
 - (2) 順位に関わらず全日本スキー技術選手権大会には参加できません。
 - (3) 決勝出場枠の人数には含めません。
- 9 参加申込み方法
- (1) インターネット「シクミネット」からの申し込みとします。
 - ・SAJ2027年度会員登録が完了していなければ申し込みができません。
 - ・シクミネットの（公財）北海道スキー・スノーボード連盟を選択し、

「第64回北海道スキー技術選手権大会」から申し込んでください。

・シクミネットでの申込みには各加盟団体での承認とその後の決済が必要になるため、各加盟団体での対応に留意してください。(期日に余裕をもって対応してください)

(2) 申込期日

出場者申し込み 2027年1月13日(水)

※上記日程以降の新規申し込みはできないので注意すること。

加盟団体承認 2027年1月15日(金)

(3) 参加料 18,000円

※参加料が期日まで納入(決済)されていなければエントリーが完了しません。

※大会中止の場合を除き、エントリー完了後の参加料返金はいりません。

(4) 宿泊申込み

※加盟団体で直接ルスツリゾートホテル・北海道スキー技術選手権大会宿泊担当者に申し込んでください。

※高校生および中学生の宿泊も加盟団体を通じて申し込まなければ割引料金の対象とはなりません。(随行する保護者等の宿泊費は割引対象とはなりません)

10 日程

1月29日(金) コートオープン

30日(土) 予選競技3種目

31日(日) 決勝競技4種目

詳細なタイムスケジュール及び競技種目は北海道スキー・スノーボード連盟のホームページに掲載します。(1月上旬～中旬予定)

11 部別

(1) 男子の部

(2) 女子の部

12 表彰

男子10位、女子6位まで表彰します。(男女とも1位は優勝杯、1位～3位まではメダル)

13 出場枠

(1) 決勝 男子90位タイ / 女子30位タイ

(2) 全日本推薦 ナショナルデモンストレーターを含む全日本スキー技術選手権大会の規定に準じます。

14 順位の決定及び全日本の出場について

(1) 総合成績は、予選・決勝の合計点で決定します。

(2) 総合成績により同順位の場合は全日本出場枠までを次の方法により決定します。

① 決勝競技合計得点の高い者とします。

② 上記の①で決しないときは、決勝競技における種目別最高得点の高い者とします。

③ 上記の②で決しないときは、抽選とします。

(3) 現ナショナルデモンストレーターは全日本スキー技術選手権大会北海道代表選手として推薦します。

ただし、次の内容を遵守してください。

① 北海道スキー技術選手権大会兼全日本スキー技術選手権大会北海道予選会にエントリーし出場する事。

② ただし、怪我や体調不良による欠場、大会期間中のアクシデントによる途中棄権等があった場合、大会組織委員会の承認を受け推薦します。

(4) 全日本の出場権を得た者は、北海道スキー連盟の合宿に参加するものとします。

(5) ユース以下の選手が推薦され派遣された場合、選手の保護者または保護者の代理者が同伴し、移動を含めた滞在期間中の責任を負うものとします。

15 監督・コーチ・参加者名簿(一覧表)の登録

申込み期日(2027年1月15日(金))までに所定のファイルにて登録すること。

登録は右記QRよりフォームまたはメールで送付すること。

なお、選手は監督を兼ねることができます。

(監督及びコーチのみが競技中の抗議を行うことができます)



16 個人情報の取扱い

- (1) 参加申込で取得した個人情報は、大会運営にかかわる事項のみに使用し、目的外使用をすることはありません。
- (2) データは電算システムで一括管理しますので、氏名の加工など個別の対応はできませんのでご了承ください。
- (3) 氏名、所属団体などの情報は、プログラムに掲載するとともに、リザルトを北海道スキー連盟ホームページなどWeb上に掲示します。

17 競技規則等

- (1) ビブNo.の決定について
各部ごとにコンピュータードローで決定します。
- (2) 用具の使用について
 - ・選手が着用を許されるウェアは市販品でルーズフィットなものとし、レーシングスーツ（ワンピース）の着用を認めません。
 - ・競技中は頭部を保護するため、全ての競技種目において必ずヘルメットを着用してください。
 - ・上記に違反した者は失格とします。
 - ・本大会において使用スキーは大回り系小回り系の2台としますがマテリアルチェックは行いません。
 - ・全日本スキー連盟公式用品委員会において認定された用具・用品を使用し、それ以外は認めません。
 - ・環境破壊や健康被害の防止の観点からフッ素成分を含むワックスの使用を禁止します。
- (3) ビブの着用について
インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用して下さい。
- (4) コートオープンについて
 - ・主催者管理外としますが、事故防止等の観点から各コートに役員数名を配置します。
 - ・コートオープン時間中は、コート内の途中で意図的に停止し立ち止まることを禁止します。
 - ・悪天候や転倒などの事故により危険と判断した場合は、滑走を一時中断または中止とすることがあります。
 - ・コートオープン中の事故や怪我等に関しては、選手の自己責任とします。
- (5) スタートの要領について
 - ・選手は、各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答しなければなりません。
 - ・選手は前者のスタート後、ただちにスタート位置につき準備を整えます。
 - ・選手はスタート審判の合図によりスタートします。ただちにスタートしない場合は当該種目を棄権したものとみなします。
 - ・スタートはスキーの一部がスタートポール内側を結ぶライン上に接した状態でブーツがそのラインを超えない位置から行います。
- (6) フィニッシュの要領について>
フィニッシュはコート下部の左右にある旗門と旗門の内側を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技終了とします。小回り種目については、フィニッシュライン通過後にスピードコントロールし、完全停止をもって演技終了とします。
- (7) 演技の中断及び途中棄権について
 - ・演技を中断した場合には、その位置で態勢を整え速やかに再スタートしてください。ただし中断が長引くと判断した場合は、係員の指示に従い行動してください。
 - ・やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコース外に移動してください。この場合において、当該種目の得点は0としますが、次の種目からの出場権は保持されます。
 - ・用具が離脱した際については、係員の幫助を受けることができます。

(8) コートインスペクション・コート整備について

コース整備を兼ねたコートインスペクションを行いますのでご協力下さい。

また、予選種目では各班の中間でコート整備を行います。

詳細はプログラムに掲載します。

(9) 抗議について

抗議事項が発生した場合は、各コートジャッジテントに用意された抗議用紙を使用し、演技終了後5分以内に各コートのジュリーに申し出てください。

18 出場選手の画像や映像等の配信について

スキー技術選手権大会共通事項として別途定めましたので、「大会の出場選手の画像や映像等の配信について」を参照してください。

19 問い合わせ先（連絡先はシクミネットの技術選申込ページに記載）

スキー技術選運営部 部長 東山 浩史

スキー技術選運営部 道技術選委員会 委員長 高橋 勝之